

■ 「カーボンクレジット」とは

植林や省エネなどの取組みを通して、温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット（排出権）」として売買できる仕組み。

企業が温室効果ガス排出をオフセット（相殺）するための一種の手形で、証券のように取引ができる

